©中日新聞社 2008

中日新聞 夕刊
発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

切れ味がかくし味 フードスライサーはエムラ
EMURA
TEL 052(711)0321
http://www.emura.co.jp

若者 熱く 読書会

活字離れ ここは無縁

「読書離れ」の時代に、若い会員を急速に増やしている読書会がある。名古屋市の「名古屋アウトプット勉強会」。一昨年九月の発足時、四人だった会員は今や二十―三十代を中心に五百人。当初は主にビジネス書だったが、文学、歴史など五つの分科会ができ、大阪に同じような会ができるなど広がりも。若者たちの熱い語りを聞いていると、「本好きは健在」と思わされる。

（社会部・垣見洋樹、写真も）

一月半ばの午後七時。名古屋市名東区のジャズ喫茶に学生やOL、サラリーマンら三十六人が集まった。月一度の文学の分科会。テーブル三つに分かれ、太宰治の「人間失格」にまつわる談議が始まった。

「主人公みたいにわざと失敗して笑わせようとしたことある」「弱いところや自分を偽るところも人間かなと思えた」

初顔もいるが、全員が一度は発言。突っ込まれることも多い。予定の二時間はあっという間に過ぎていく。

場を取り仕切るのが、無類の本好きという山本多津也さん（四三）―名古屋市名東区。会社経営の傍ら、アウトプットの代表を務める。

「意欲が高い若者がこんなにいるとは。読書会をやる前は、まさかここまで集まるとは思わなかった」と、驚きを隠さない。

会の立ち上げは、「本をじっくり読めるようになりたい」と、ビジネスマンで学生時代の友人から受けた相談がきっかけだった。昨年二月からインターネット上の会員制サイト「ミクシィ」で参加を呼びかけたところ、若い会員が急増した。

会のルールは「課題本を読んでくること」。夏目漱石やマキャベリといった古典、準古典など読み応えがある本が中心のためやる気が必要だ。

「大学で本の話を深くできる人がいなかった。ここならどれだけでも本の話ができる」。入会の動機を語るのは、名古屋市天白区の大学一年小池未樹さん（一九）。月に三十冊は本を読むという。

同市名東区の男性公務員（三七）も、本が好きなのに「ゲーテを持っている」と話すだけで職場の同僚らが引いてしまい、寂しい思いをした。「ここは最高に楽しい。別の人の見方を知ることで読む価値を高めることもできる」とも語る。

山本さんは「この会がムーブメント（運動）のように広がっていくと面白い」と話す。既に、ネットで知った大阪の学生が視察に訪れ、読書会を作った。東京や福岡ではアウトプットの支部が近くできる予定だ。

一冊の本について感想を話し合う名古屋アウトプット勉強会のメンバー＝名古屋市名東区のジャズ喫茶で

ネット上の設立目立つ

読書推進運動協議会（東京都）が二〇〇三年に行った全国の読書会調査では、団体数は約九千で五年前の調査より増えている。しかし、子どもへの読み聞かせや、中高年の会がほとんど。「若者による会はあまりない」（同会事務局）という。

一方、ネット上ではビジネス書を中心に若者による読書会の設立が目立つ。ミクシィで検索するとざっと七十五団体がヒットする。

匿名なら入りやすい

実際に会って意見交換する会もある。

「友達同士では本についてしゃべるのは恥ずかしい。ネットという匿名の世界なら入りやすい」と話すのは、出版業界に詳しいフリーライター永江朗さん（四七）。その上で「一九八〇年代以降、教養のスタンダードが失われ、『何を読んでいいか分からない』という状況が生まれた。真剣に自分を磨きたい若者たちが『何をどう読んでいけばいいか』を読書会に求めているのではないか」と分析している。

名古屋 当初4人 1年半で500人に

ニュースインサイド

ギョーザ中毒

工場で毒物使用可能性

元従業員証言「ネズミ駆除用に」

【石家荘（中国河北省）＝共同】日本で中毒を起こしたギョーザを製造した中国河北省石家荘市の食品会社「天洋食品」の元従業員二人が二日、匿名で共同通信の取材に応じ、衛生管理が厳重だった。

施設の一部の床にネズミ駆除のため粘着質のテープを使用しており、このテープは上に誘食性のある殺そ剤をまいたりするという。

中国では労働者の権利を強化する労働契約法の今年一月からの施行に伴い労働争議が各地で起きており、今回の事件も労使間対立が背景にあるとの見方もあるが、同工場では激しく対立するような争議はなかった。ただ女性によると、一月から四十五歳以上の従業員は事実上、大量解雇された。

また現在、事務職員を除く工場従業員は全員、原因調査とマスコミ対策のため宿舎に缶詰め状態にされ、外出禁止となっているという。

取材に応じたのは、半年前に辞めた男性（九）と約二年前に辞めた女性（四六）。いずれも工場の近所の住民で、男性の姉は今も同社で勤務している。

二人の話を総合すると、ギョーザ製造は一班約三十人で、皮の原料の小麦粉をこねる作業から素材の細断、具を皮で包む作業、冷凍、エックス線による混入物チェック、包装など流れ作業で約十六工程あった。作業に入る際はマスクや帽子のほか、まゆ毛やまつげが落ちないようメガネも掛けるなど衛生管理は厳だった。千葉、兵庫両県警は翌二十九日にギョーザから有機リン系殺虫剤「メタミドホス」を検出し、JTは二十日に中毒八十件の同様の審査が行われ、因が公表される前に取引が活発化した場合は実態を調べており、最近五年間では毎年約五百―八百件の同様の審査が行われ、因が公表される前に取引が活発化した場合は実態を調べており、最近五年間では毎年約五百―八百件の同様の審査が行われ、因が公表される前に取引が活発化した場合は実態を調べており、最近五年間では毎年約五百―八百件の同様の審査が行われ、因が公表される前に取引が活発化した場合は実態を調べており、最近五年間では毎年約五百―八百件の同様の審査が行

（関連11面）

中国では、今回日本で検出され問題となった有機リン系殺虫剤（農薬）「メタミドホス」を殺そ剤として使うことは原因調査とマスコミ対策のため宿舎に缶詰め状態にされ、外出禁止となっているという。

取材に応じたのは、半年前に辞めた男性（九）と約二年前に辞めた女性（四六）。いずれも工場の近所の住民で、男性の姉は今も同社で勤務している。

二人の話を総合すると、ギョーザ製造は一班約三十人で、皮の原料の小麦粉をこねる作業から素材の細断、具を皮で包む作業、冷凍、エックス線による混入物チェック、包装など流れ作業で約十六工程あった。作業に入る際はマスクや帽子のほか、まゆ毛やまつげが落ちないようメガネも掛けるなど衛生管理は厳重だった。

施設の一部の床にネズミ駆除のため粘着質のテープを使用しており、このテープは上に誘食性のある殺そ剤をまいたりするという。

中国では労働者の権利を強化する労働契約法の今年一月からの施行に伴い労働争議が各地で起きており、今回の事件も労使間対立が背景にあるとの見方もあるが、同工場では激しく対立するような争議はなかった。ただ女性によると、一月から四十五歳以上の従業員は事実上、大量解雇された。

JT株、公表前急落

監視委、情報漏れを調査

天洋食品が今夕会見へ

中国検疫局も

【石家荘＝新貝憲弘】中国製ギョーザによる農薬混入問題で、中国河北省石家荘市の製造元「天洋食品」は二日午後五時（日本時間同六時）から、同市内で記者会見を開く。また、河北省の出入境検験検疫局も同日午後四時（同五時）に会見を行う。省政府関係者が二日午前、明らかにした。

問題発覚後に天洋食品が会見を開くのは初めてで、中毒症状の原因となった有機リン系薬物「メタミドホス」の混入経緯などをめぐり、どこまで明らかにされるか注目される。

がん早期発見 人間並みに

犬猫にPET診断OK

農水省規則改正

農林水産省は、人間ではがんの早期発見の手段になっている陽電子放射断層撮影装置（PET）による診断を、犬と猫にも実施可能にする方針を決めた。五月までに、必要な放射性の医薬品が使

陽電子放射断層撮影装置（PET） 増殖中のがん細胞がブドウ糖を活発に取り込む

近になるにつれて人間同様の高度医療の適用を求める声が高まっているのを受けた措置。感染症が減り、ペットが長生きになってがんが増えていることも背景にある。

これまで犬、猫のPE

答申は放射性物質のフッ素18をがんの標識薬とするPETの診断を犬、猫で容認。周囲の人間の被ばくを考慮し、標識薬の投与後、二十四時間は退院させないとした。

欧米では競走馬の疲労骨折の発見に使われている、放射性のテクネチウム99mを標識薬とするシンチグラフィー検査も馬と犬、猫で認める。

農水省の二〇〇六年の

雇用統計悪化「深刻な兆候」

米大統領が懸念

【ワシントン＝古川雅和】ブッシュ米大統領は一日、ミズーリ州カンザスシティーで演説し、同日発表された一月の雇用統計で非農業部門の就業者数が四年五カ月ぶりに前月比で減少したことについて「経済が弱くなっている深刻な兆候がある」と懸念を表明した。

その上で「われわれは何らかの行動をとらなければいけない」と強調、千五百億ドル（約十六兆円）規模の緊急経済対策関連法案を、議会上院が早期に可決することをあらためて求めた。

ブッシュ大統領は、米国経済が荒れた時期に入っているものの、ファンダメンタルズ（基礎的条件）は強いと指摘。政府が国民のために決定的なことができるとして、緊急経済対策関連法案の重要性を訴えた。上院がすぐに法案を可決すれば、国民が所得税の戻し分を手にして消費が活性化され、「（米国）経済はこの不確かな時期から回復する」と述べた。

上院では、緊急経済対策に失業保険給付の増額などを盛り込むよう、法案の修正を求める声が高まっている。

夕歩道

〝家族化〟進み

ペット事情に詳しい専門誌「月刊WAN（緑書房）の佐藤編集長の話 ペ

〝家族化〟が進み、飼い主は人間てできるのと同程療を求めていく傾る。PETはまだが低いが、安全性し、飼い主に手の用料が設定されれ断してほしいとい ズはあるだろう。

どうにももどかいだ。中毒で重体た中国製ギョーザ混入問題である。Hのナゾの多くがいない。いつ、どなぜ、どのように殺虫剤が混じった事件か、事故か。

経緯が不明だかも募る。「しばら国製のものを食べとだな」。喫茶店いうお客に店主がビスの落花生も中よ」。図らずも、食品があふれる日実も見せつけた。

40%という食料の低さこそが問題騒ぎして中国製を

調査では、獣医師六大学のうち十大法が整備されれば導入を検討すると ている。今夏の稼指している北里大院（青森県十和が、最初の導入施る見通し。

伊藤伸彦北里（獣医放射線学）期発見し、早期治なげたい」と話

紙面から

3 仏刑務所 高級ホテルに
5 黒田 米で自主トレ公開
8 「豊富座」にぎわい復活
10 光悦の名碗2つ〝再会〟
2 この道
4 文化
6 小説
7 街角新風

ギョーザ風評被害を防げ 11

夕刊の言葉

小児科医として多くの苦しい家庭を見てきた。少しでも役に立てれば

奨学金を創設する元医師杉山幸八郎さん11面

中日新聞ホームページ
www.chunichi.co.jp